

抗室ニ於テ工場主ト會見廢工談職工側代表有  
宿次義忠利ヨリ申歎願書及要求書ヲ拒絶シタル事  
由(古)ノ貰問シタルニ工場主ハ「經清界不況ノ為  
志矣

答(古)メ收支帳ハ「ズ已ムヲ禪不拒絶シタリ」古トノ返  
答(古)シ為シタルニ考ソ第ハ更ニ無縫告ニ工場ヲ  
休業シ亦工場主ノ旅行シタル理由古ノ貰問  
工場主ハ之ニ對シ諸君が怠業状態ニ至リシ  
ヲ以テ已ムヲ得テ休業ヲ宣シタリ又旅行ハ遇  
般未病氣、為メ醫癒ニ及シ居ル際或ル職  
工ハ自今ヲ追尾因進セントシタル實例アル等  
國(古)ヲ感シタルモノト亘ツ地方ノ業務轉理ス  
木旅行シタル旨ノ返答アリテ互ニ應答シタル  
外當古ハ要小車條件、骨子ニ言及スルニ至ラズ

結局工場主ハ自下病氣、際旅行中ノ瘦勞ヲ  
覺エ交渉ヲ継続元ノ苦痛ヲ述ヘタルニ職工代  
レ度シト約リ四時三十分退去先ニ本部ニ引揚  
ゲ居タル一回ニ對シ右上顎末ノ報告シタルモ何  
等協議等ナク七時三十分退散シタリ

四月廿日職工等ハ約四十名本部ニ集合高橋  
忠利外十一名ハ前日ノ約束、如ク午後十時世  
間制、實施其他の之關シ意見、交換シ為シ  
タルエ何等次々ニルヲ得ズ結局八時半制実施  
ニ就テハ廿一日工場側ヨリ眞体察リ作成シテ  
提示、エルカト。其他之關シテハ有協定ノ後シニル